

社員の「働きやすさ・働きがい」を高める 環境を整備して、受注数や売上を増やす

同社は、スポーツ施設や商業施設、住戸等の電気設備工事を手がけている。「CS（顧客満足）にはES（従業員満足）やFS（家族の満足）の向上が必要で、それを根底から支えるのがPS（個人満足）である」との考えに基づき、独自の働き方改革を推進している。

建設現場でのテレワーク活用では、現場と本社の情報共有を推進し業務効率化を図る。この生産性向上によって生まれた時間や経費を、社員の資格取得奨励等に活かし、社内全体のスキル向上を実現。受注拡大を図っている。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 神奈川県横浜市南区井土ヶ谷下町16-6 | ● 設立 | 1965年 |
| ● 電話/FAX | 045-743-4411 / 045-743-1994 | ● 資本金 | 3,700万円 |
| ● URL | http://www.kouyo-dd.jp/ | ● 従業員数 | 39人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 倉澤 俊郎 | | |



柔軟な働き方が可能な職場づくりを目指し、社内制度を改革

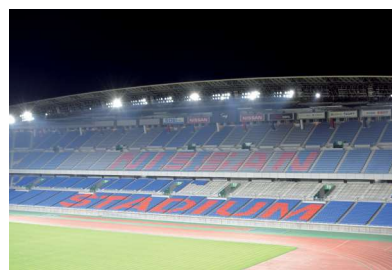
同社では、介護や育児等のライフイベントが発生しても働き続けられる、柔軟な働き方が可能な職場づくりを目指すべく、社内制度を構築している。現在、介護休暇制度や育児短時間勤務制度、フレックス制度等を整備し、多くの社員が活用している。業務の属人化を防ぐためジョブローテーションも行い、困った時に助け合える環境を整備している。積極的に女性採用も進め、現在、社員39名中13名の女性が、経理・積算・安全・広報部門に従事し、更なる戦力化を進めている。



柔軟な働き方を活かして働く社員たち

業務の関連資格を持つ従業員増加による受注件数の拡大

同社では、テレワーク活用により生産性が向上し、削減した労働時間や経費を社員の資格取得推進に充てている。例えば、社内での資格取得講習会の開催や、会社負担による外部有料講習会への参加奨励等によって、資格保持者が増加し、会社全体の技術レベルの向上が図られた。これにより、受注可能な業務が増え、取引先数や売上も拡大する等、業績にも好影響が表れている。近年では、『日産スタジアム』の電気設備工事等の業務も、受注するに至っている。



同社で工事を受注した『日産スタジアム』

建設現場でテレワークを活用し、労働時間と固定費を大幅削減

建設業の特性上、社員は各工事現場と本社、自宅間を移動しなければならず、長時間労働による身体的・精神的負担も大きかった。そこで、現場事務所をサテライトオフィス化した事でテレワークを可能にし、移動コスト（時間、ガソリン代）や、光熱費、自動車保険料といった固定費を直近10年で2割ほど削減することができた。現場や自宅で業務ができる環境を整備していった結果、今では介護や育児等の事情を抱えた社員でも働き続けられるような環境を整えることができています。



サテライトオフィス化した現場事務所